資料2-2

# 令和2年度
# 新規事業候補箇所説明資料

## 一般国道8号
## （金沢外環状道路）
## 海側幹線（今町～鞍月）

北陸地方整備局

1. 対象地域の状況

2. 事業の概要

3. 課題と整備効果

4. 費用便益分析結果

5. とりまとめ

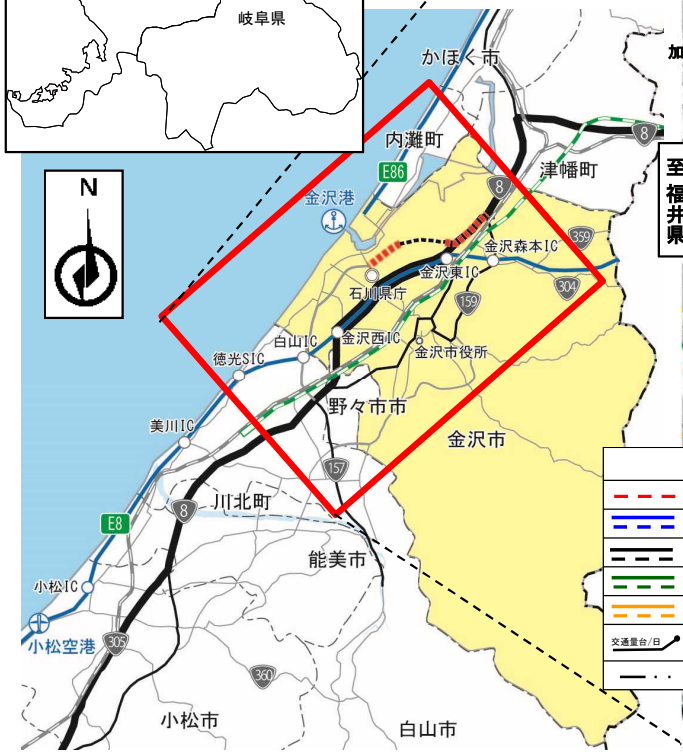
# 1. 対象地域の状況

# 対象地域の状況

## 1．一般国道８号金沢地域の概要

①一般国道8号は、新潟県新潟市を起点に、日本海に沿って北陸地方を縦断し、京都府京都市へ至る主要幹線道路。
②対象区間は石川県金沢市今町～千木町、大河端西～鞍月を結ぶ金沢外環状道路海側幹線の一部区間であり、
　山側幹線と一体となって金沢都市圏における環状道路ネットワークを形成。
③山側幹線については平成18年4月までに全線が開通しており、現在、金沢東部環状道路の4車線化を推進中。

【広域図】



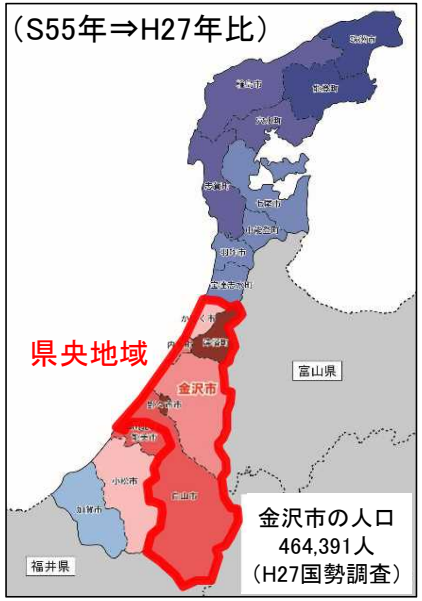

【路線位置図】

# 対象地域の状況

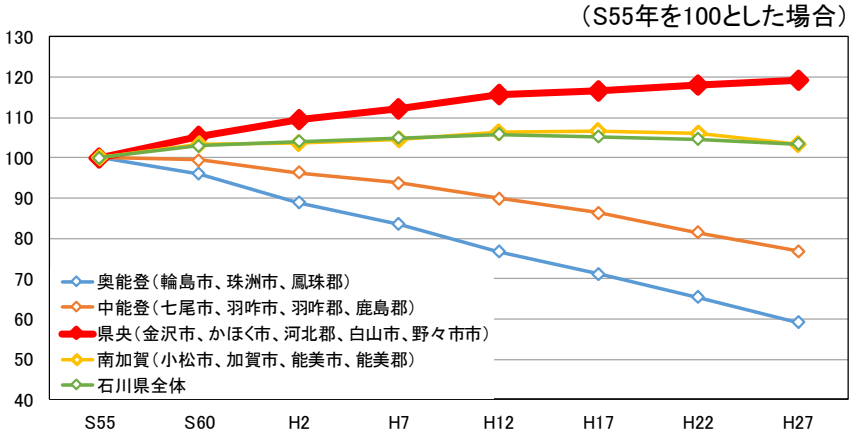
## 2. 地域の概要

①石川県全体の人口は横ばいに推移している中、金沢市を含む県央地域では人口増加が顕著（S55比 約19%増）。
②金沢地域及びその周辺では土地区画整理事業が進展しており、DID地区が増加（H2比 約26%増）。

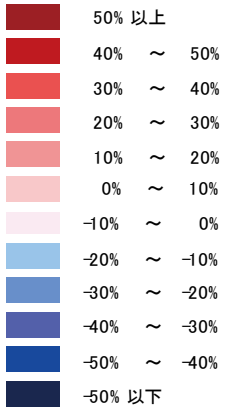
### 【石川県内の人口推移】




出典：国勢調査結果より作図




出典：国勢調査

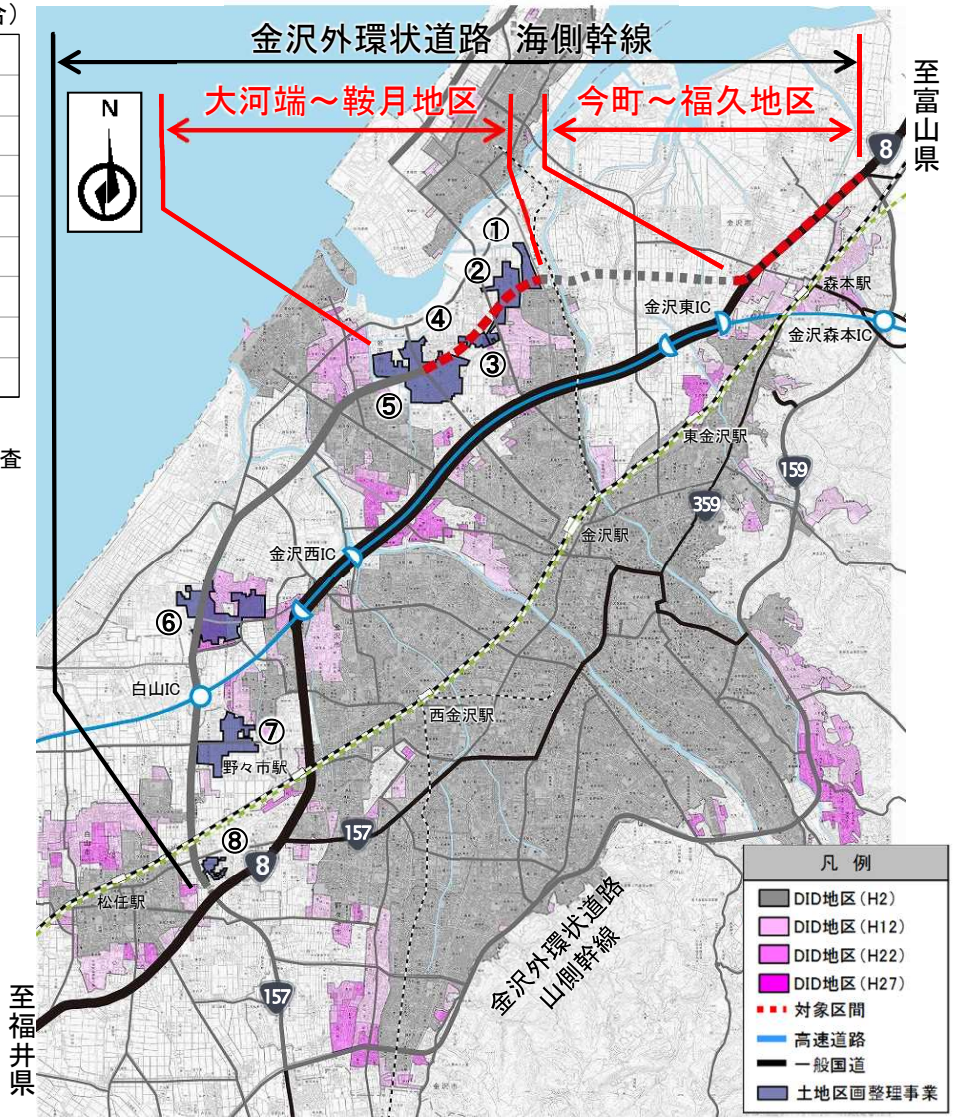



### 【金沢地域周辺の土地区画整理事業】

| 番号 | 事業名 | 面積（ha） | 完了年度 |
|---|---|---|---|
| ① | 金沢市副都心北部大河端 | 16.6 | H29 |
| ② | 金沢市副都心北部直江 | 42.8 | H30 |
| ③ | 金沢市副都心北部大友 | 10.7 | H29 |
| ④ | 金沢市鞍月 | 73.1 | H17 |
| ⑤ | 金沢市無量寺第二 | 19.0 | H26 |
| ⑥ | 金沢市安原中央 | 72.6 | H22 |
| ⑦ | 白山市横江町 | 48.4 | R2（予定） |
| ⑧ | 野々市市柳町 | 8.9 | H30 |

出典：いしかわの区画整理（H29）より作成

### 【金沢地域周辺におけるDID※1地区】



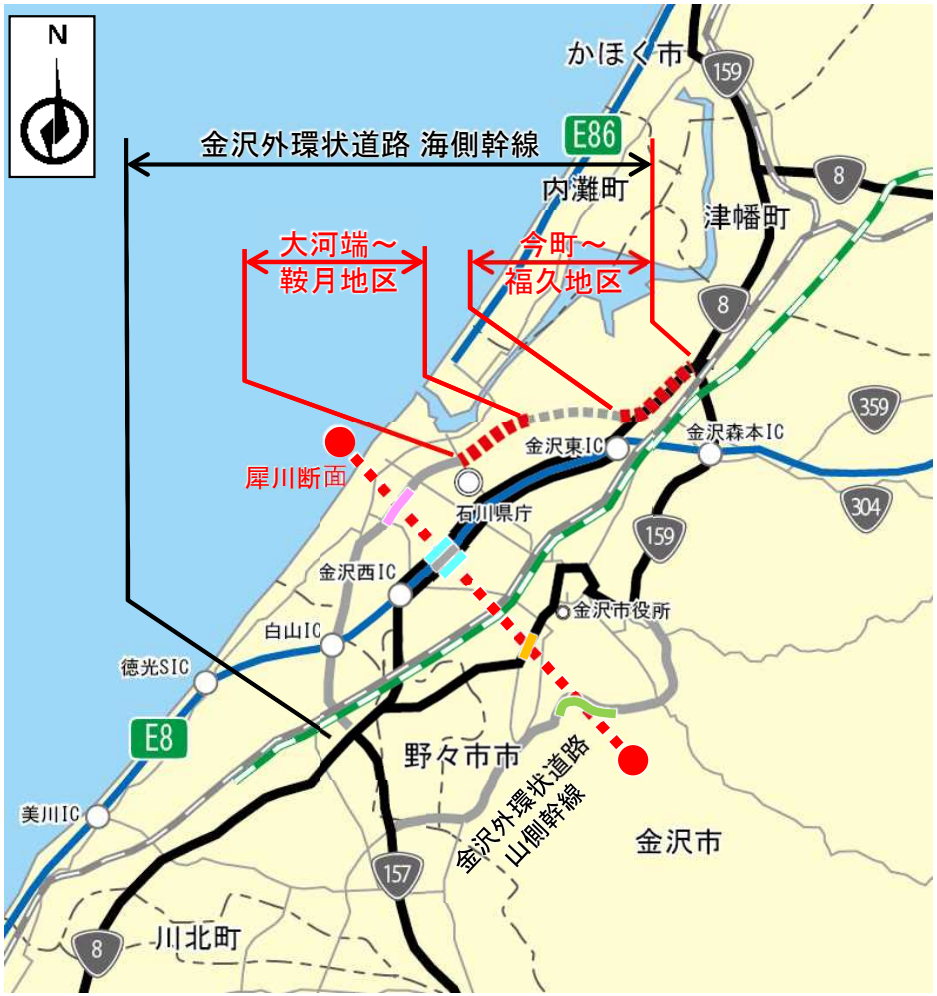

※1 DID地区とは「人口集中地区」。人口密度約4,000人/km2以上の国勢調査地区が互いに隣接して、隣接した地域の人口が5,000人以上を有する地域

# 対象地域の状況

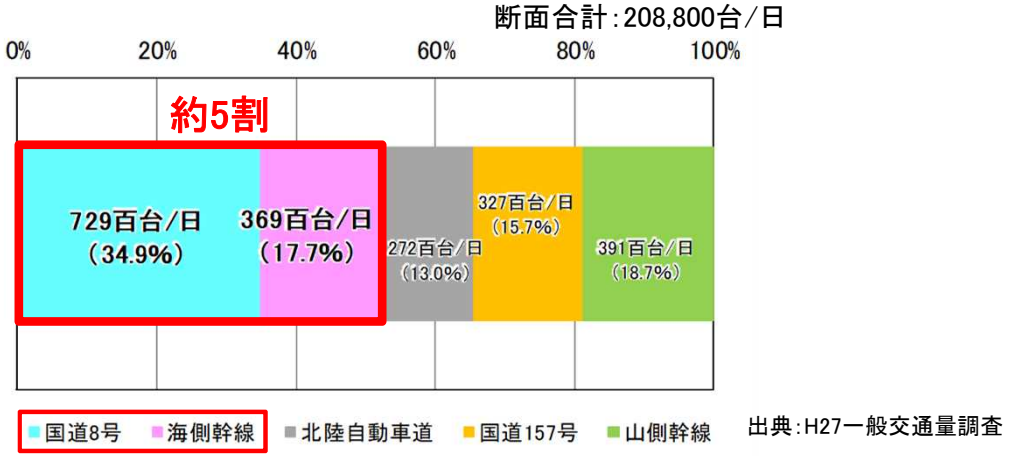
## 3. 交通特性

①金沢都市圏周辺では、北陸自動車道や国道8号、国道157号、金沢外環状道路（海側幹線、山側幹線）が主要幹線道路として機能しており、断面交通の約5割が国道8号及び海側幹線を利用。
②対象区間周辺の金沢市は、隣接市町との通勤通学流動が多い。また、通勤通学における自家用車の利用割合が全国平均と比べて高い。

【金沢都市圏周辺の主要幹線道路】



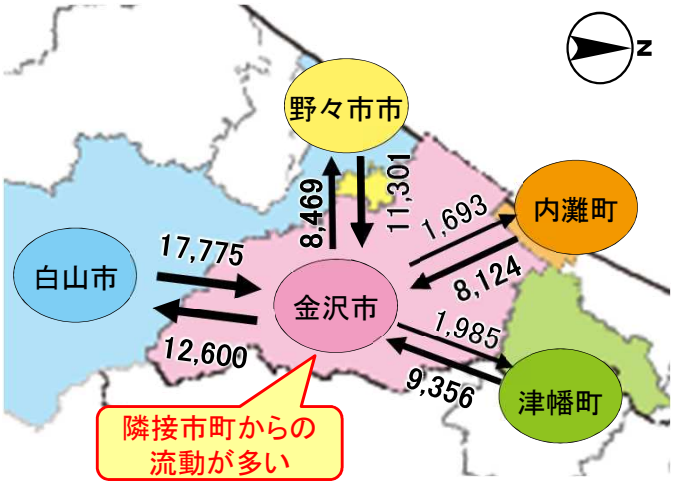

【犀川断面の交通量内訳】




出典：H27一般交通量調査

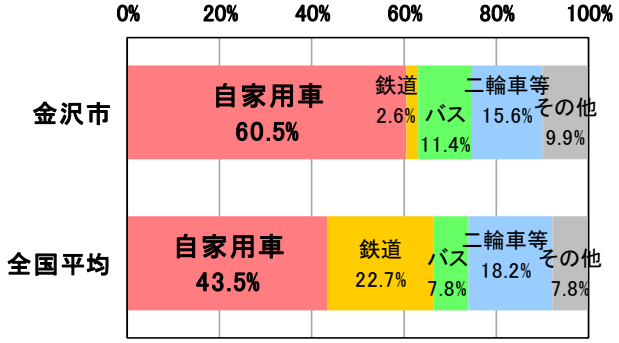
【金沢市を往来する通勤通学流動】

（単位：人／日）




出典：H27国勢調査

【通勤通学における
自家用車利用率】




出典：H22国勢調査（※H27は未実施）

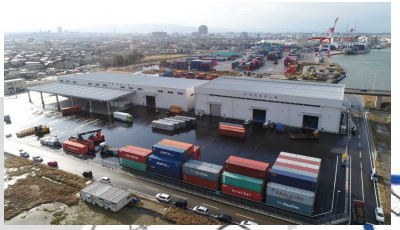
# 対象地域の状況

## 4. 産業

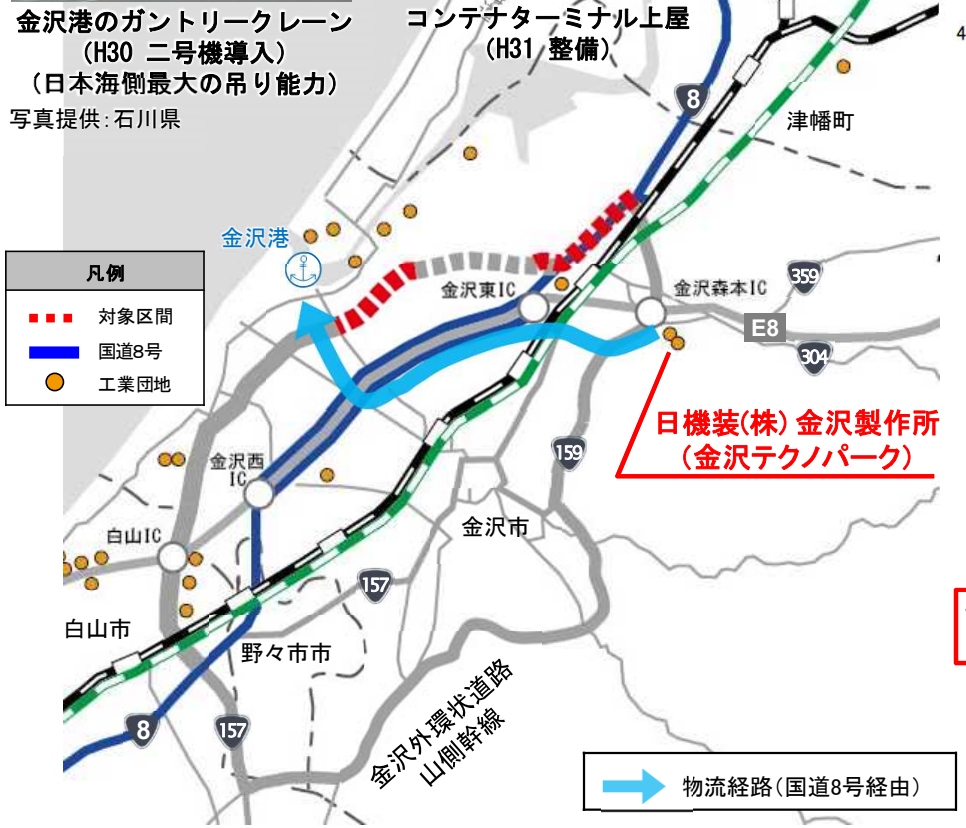
①日本海側拠点港である金沢港は、ガントリークレーンやコンテナターミナルの整備により、取扱貨物量及び輸出入額が近年増加傾向。また、取扱貨物の内、金属機械工業品が輸出の約7割を占める。
②金沢都市圏の周辺には工業団地が多数立地しており、金沢テクノパークに立地する日機装(株)金沢製作所では、国内シェア50%以上である透析装置(医療機器)を国道8号経由で金沢港から海外へ輸出。

【金沢都市圏周辺の工業団地立地状況】

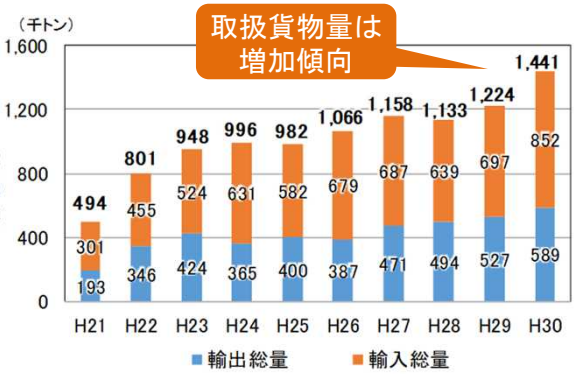
金沢港のガントリークレーン
(H30 二号機導入)
(日本海側最大の吊り能力)
写真提供:石川県



コンテナターミナル上屋
(H31 整備)

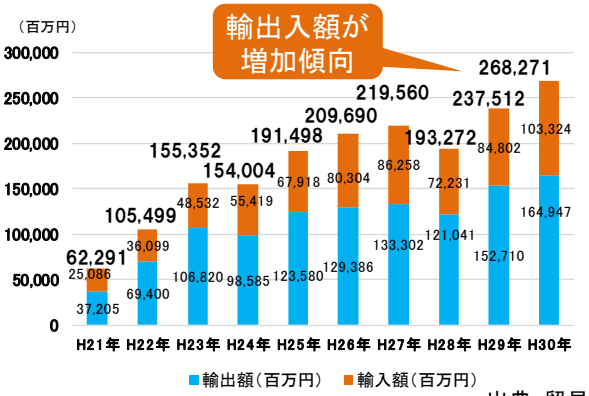



【金沢港の取扱貨物量推移】



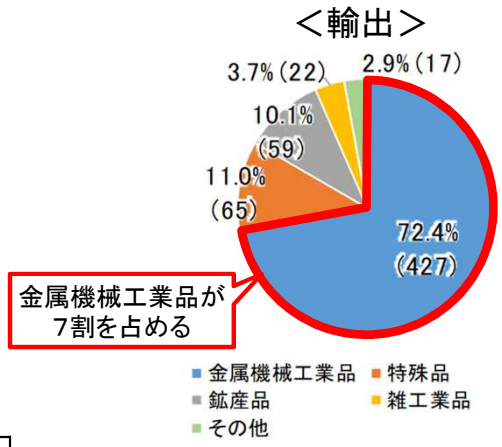

出典:金沢港港湾統計年報

【金沢港の輸出入額推移】




出典:貿易統計

【金沢港の取扱貨物内訳(H30)】




出典:金沢港港湾統計年報

【金沢港から海外へ輸出する
透析装置(医療機器)】

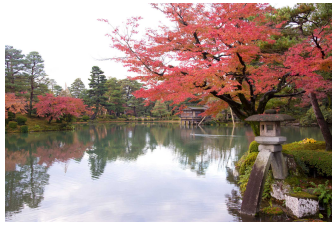
出典:日機装(株)金沢製作所

# 対象地域の状況

## 5. 観光

①金沢市内には兼六園や金沢21世紀美術館、金沢城公園など人気の観光施設が多く存在しており、北陸新幹線開業後、観光需要は高まっている。また、令和4年度末には、北陸新幹線の敦賀延伸が予定されている。
②観光客の約7割が県外から来訪し、また、県外観光客の約9割が県内での移動に自動車を利用。

■兼六園



■金沢21世紀美術館

■金沢城公園

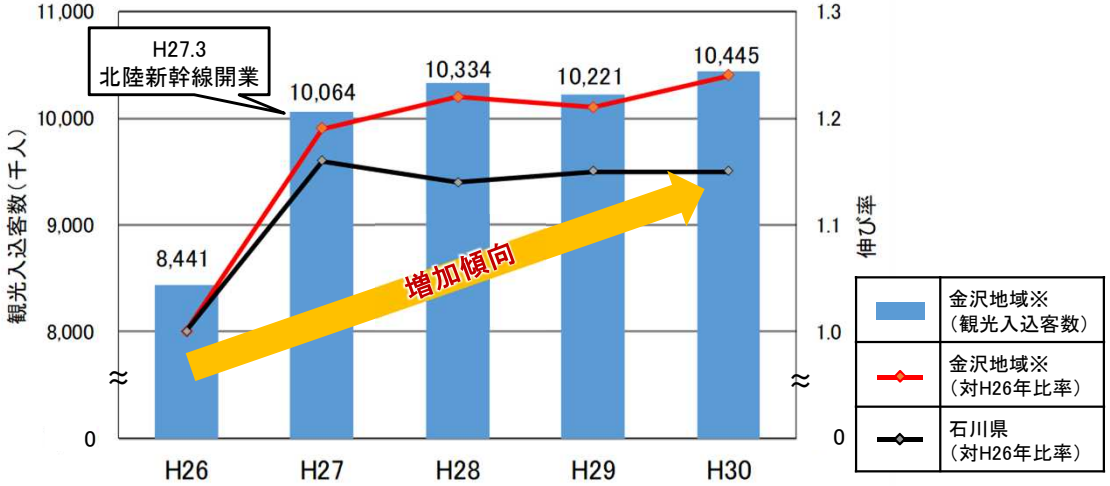
■近江町市場

■茶屋街（ひがし・主計・にし）

■長町武家屋敷跡

写真提供：金沢市

【金沢地域、石川県の観光入込客数】



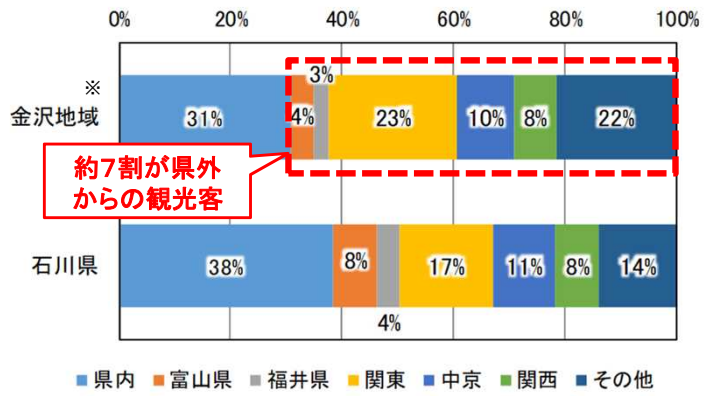

出典：統計からみた石川県の観光

【石川県内の主要観光施設（H30利用者数上位10施設）】

| | 施設名 | H30利用者数（千人） |
|---|---|---|
| 1 | 兼六園 | 2,750 |
| 2 | 金沢21世紀美術館 | 2,515 |
| 3 | 金沢城公園 | 2,178 |
| 4 | 白山比咩神社（しらやまひめ） | 908 |
| 5 | 気多大社（けた） | 823 |
| 6 | 和倉温泉（わくら） | 811 |
| 7 | 千里浜（ちりはま） | 771 |
| 8 | 能登食祭市場 | 754 |
| 9 | 山代温泉（やましろ） | 722 |
| 10 | 木場潟公園（きばがた） | 712 |

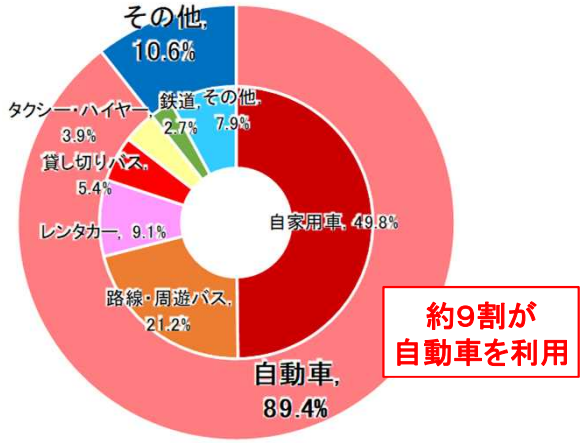
出典：統計からみた石川県の観光（平成30年）
*着色箇所は金沢市内に立地する観光施設

【観光入込客の出発地割合】




出典：統計からみた石川県の観光（平成30年）

【県外観光客の移動手段（県内移動）】




出典：統計からみた石川県の観光（平成30年）

※金沢地域：金沢市・野々市市・白山市（旧松任・美川）・内灘町・津幡町・かほく市

# 2. 事業の概要

# 一般国道8号（金沢外環状道路）海側幹線（今町～鞍月）の概要

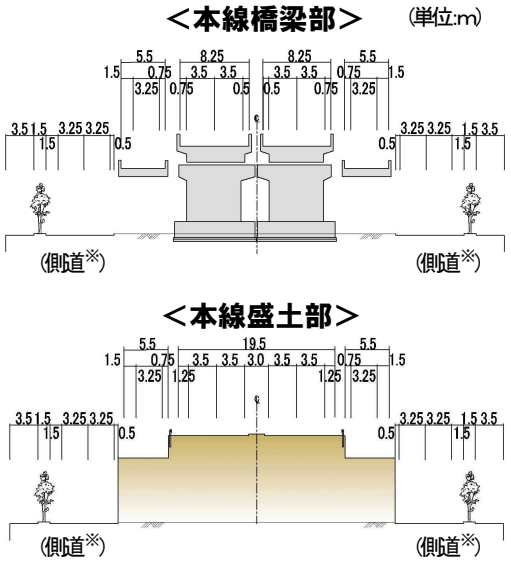
## 【事業概要】

| | |
|---|---|
| 事業名： | 一般国道8号　金沢外環状道路海側幹線 |
| 起終点： | 石川県金沢市今町～石川県金沢市鞍月 |
| 延長： | 5.6km　（第3種第1級、設計速度80km/h） |
| 車線数： | 4車線 |
| 全体事業費： | 約650億円 |
| 計画交通量： | 約44,000台/日 |

## 【事業の経緯】

- H9.7　都市計画決定（W=33m）
- H16.7　海側幹線（鞍月～福増）側道部供用
- H24.4　都市計画決定（起終点・延長・路線名の変更）
  海側幹線（福久～大河端）事業着手
- H25.12　海側幹線（福増～乾）側道部供用
- H27.2　海側幹線（大河端～鞍月）側道部供用

## 【標準断面図】



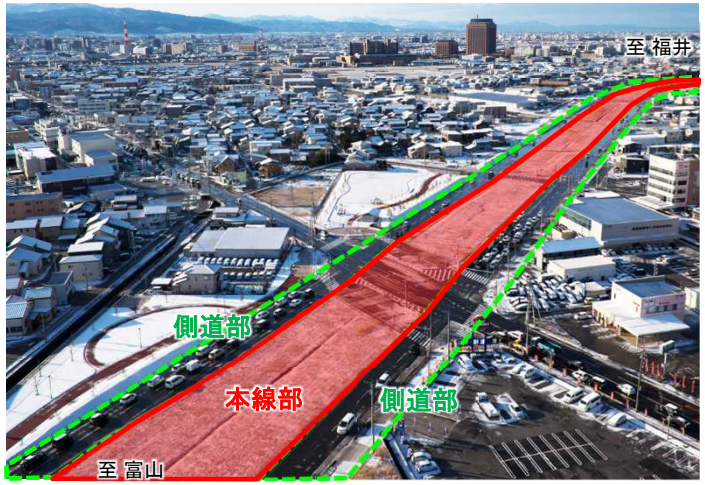




写真　海側幹線の状況

撮影日：R2年2月7日（金）　8時台

※大河端～鞍月地区は側道部供用済み

## 【事業位置図】

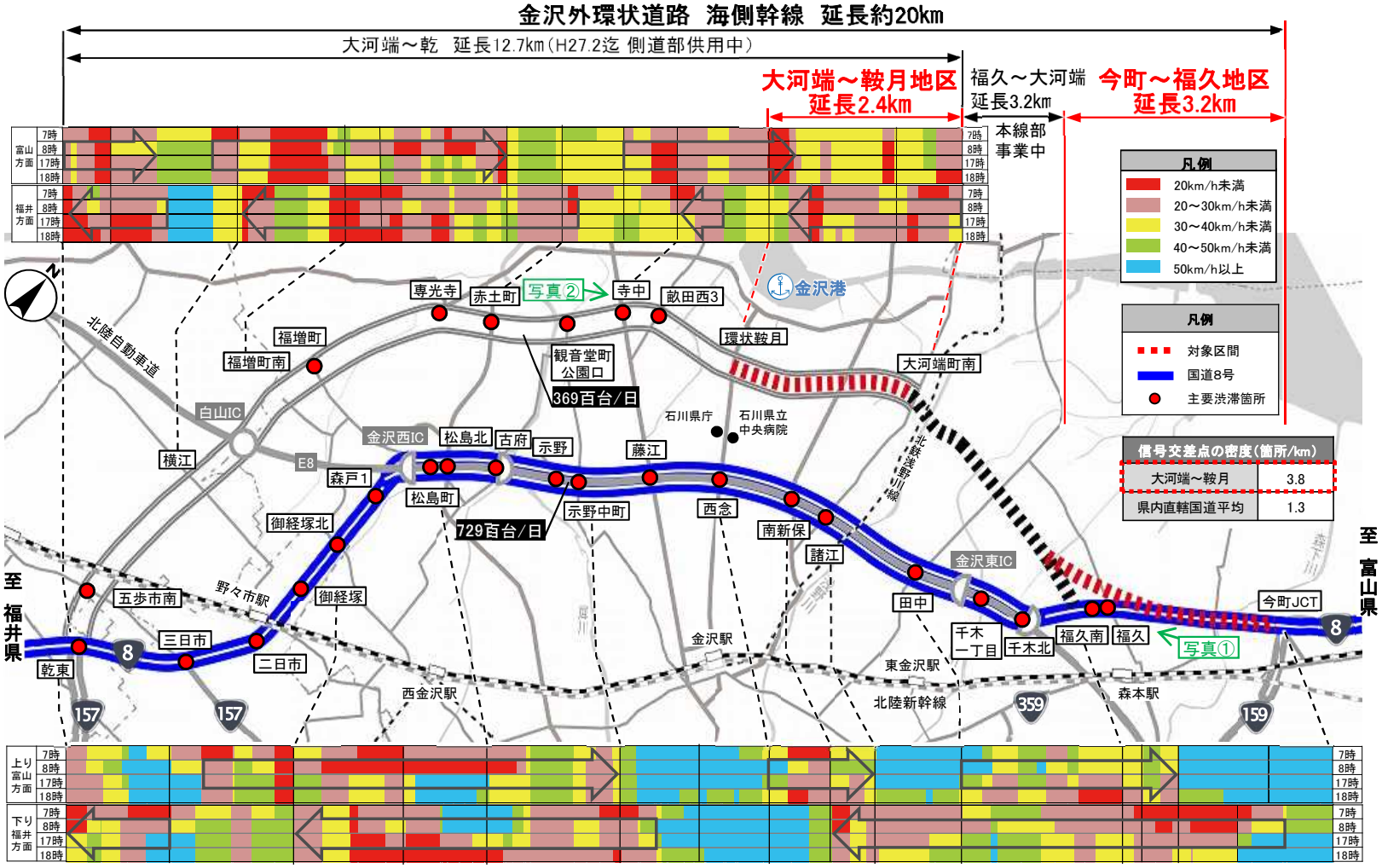
# ３．課題と整備効果

# 課題と整備効果

## 1．円滑な交通ネットワークを形成

【課題】①金沢都市圏の主要幹線である国道8号今町～乾町間は、朝夕ピーク時を中心に速度が10～20km/h台に低下。
②交通課題への対応として金沢外環状道路海側幹線の整備が進むが、海側幹線の供用中区間は平面構造の側道供用であり、信号交差点が連続し現状でも速度低下が発生するなど、環状機能の発現に課題。

【整備効果】海側幹線の本線整備により、国道8号の交通が海側幹線へ転換し、国道8号の渋滞が緩和され、円滑な交通ネットワークを形成。

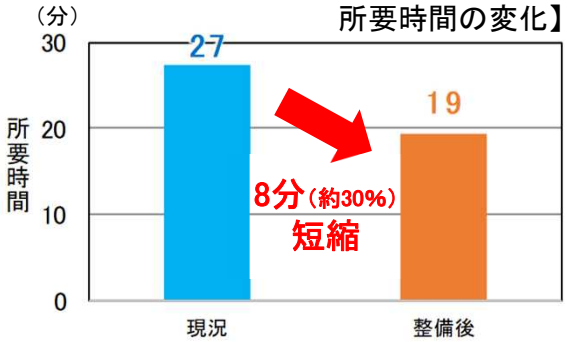



出典：ETC2.0プローブ情報（H30.4～H31.3　平日データ）

【写真①：国道8号の渋滞状況】

【写真②：海側幹線側道部の状況】

【国道8号（今町JCT～乾東）の所要時間の変化】



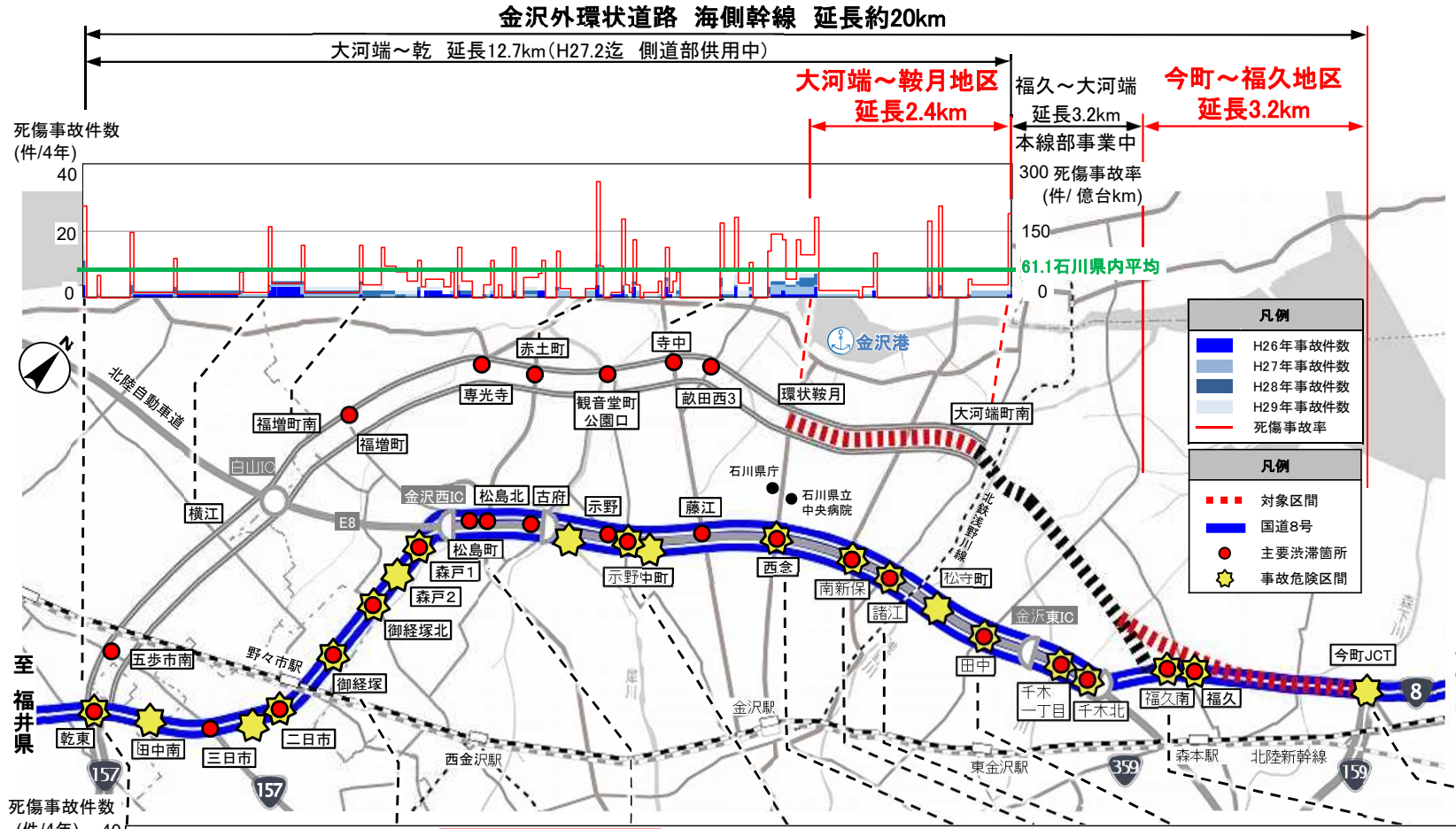

出典：整備前　ETC2.0プローブ情報（H30.4-H31.3）
整備後　R12交通量推計値

# 課題と整備効果

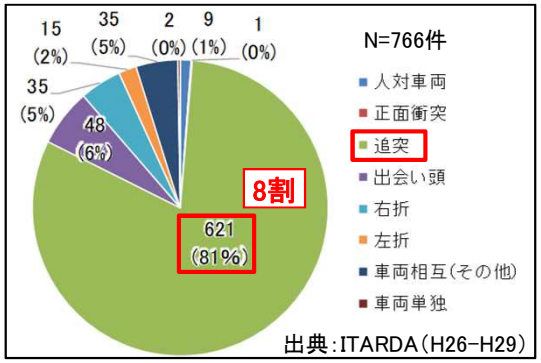
## 2. 安全性の向上

【課題】①国道8号今町～乾町間では事故危険区間が21区間存在し、石川県内の平均死傷事故率を大きく上回る状況。
また、6区間の死傷事故率が石川県内直轄国道交差点のワースト10%以内。
②渋滞に起因すると考えられる追突事故の割合が約8割を占め、安全な通行に課題。

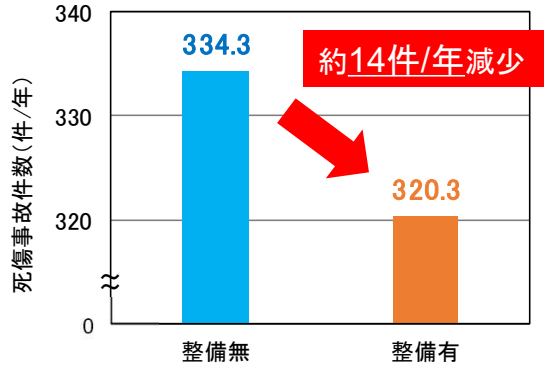
【整備効果】渋滞緩和により国道8号の安全性が向上し、死傷事故の減少が期待。




【国道8号(今町JCT～乾東)の事故類型】




【国道8号(今町JCT～乾東)
の死傷事故減少件数】




出典:R12将来推計値(整備無、整備有)

出典 国道8号、海側幹線(寺中～福増町南):ITARDA(H26-29) 、 海側幹線(大河端町南～寺中、福増町南～乾東):石川県警

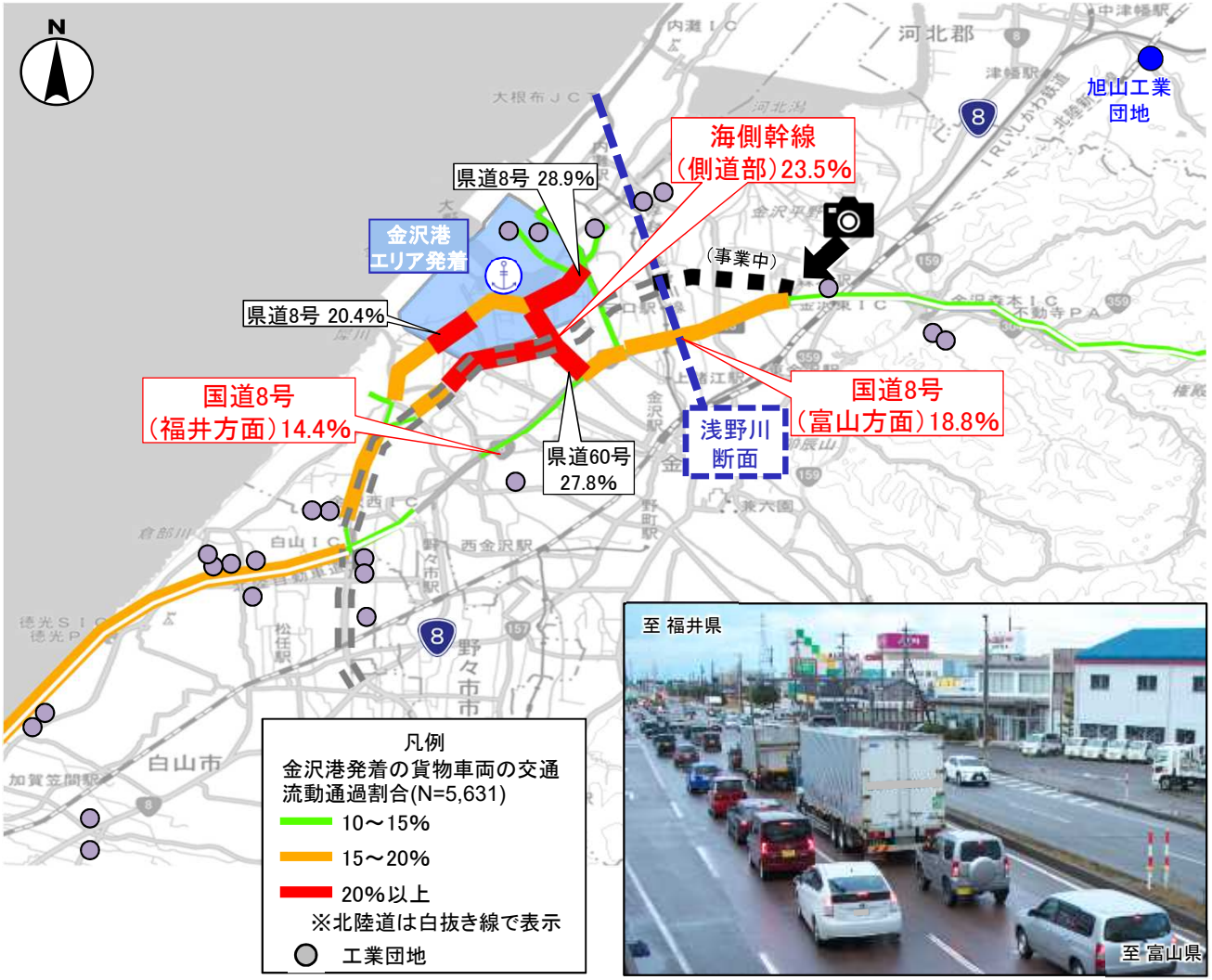
# 課題と整備効果

## 3．物流効率化による地域経済活動を支援

【課題】金沢港エリアを発着する貨物車両の物流経路は、国道8号と海側幹線に集中し、渋滞により円滑な物流活動を阻害。

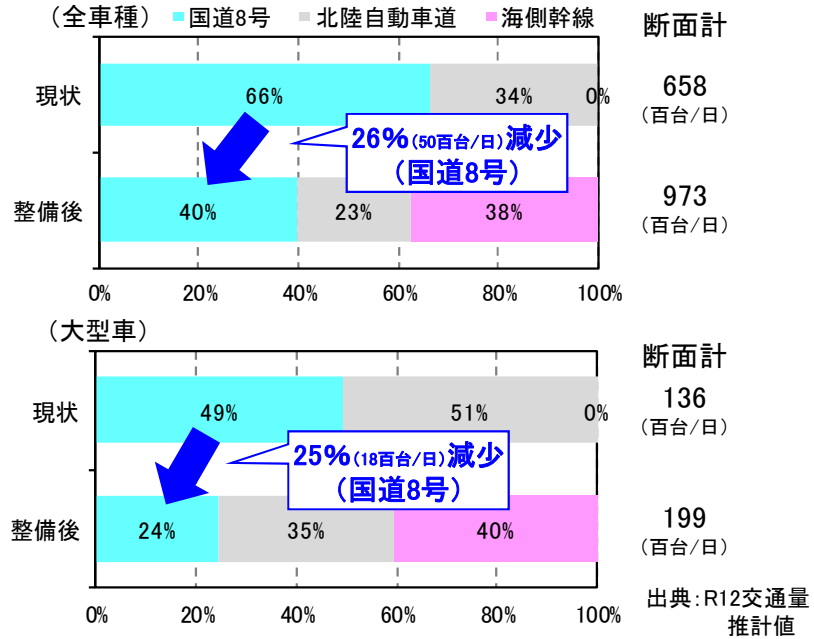
【整備効果】国道8号の交通が海側幹線へ転換することで国道8号の渋滞が緩和し、金沢都市圏北部に位置する工業団地からの所要時間が短縮され、物流の効率化を支援。

【金沢港発着の貨物車両の交通流動通過割合】



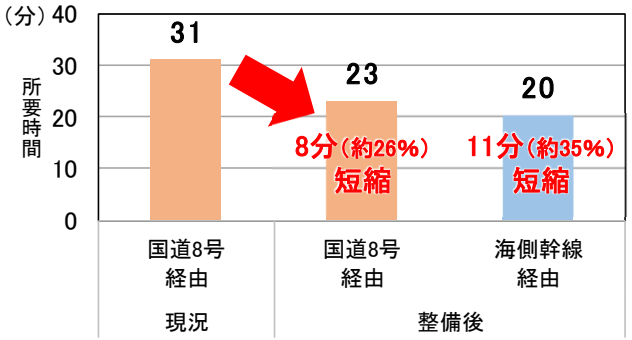

出典：ETC2.0プローブ情報（H30.9～11平日）　　撮影日：R2年1月31日(金)　7時台

【浅野川断面における交通割合（推計値）】




出典：R12交通量推計値

【旭山工業団地→金沢港への所要時間】




出典：[現況]ETC2.0プローブ情報（H30.9～11）　[整備後]R12交通量推計値

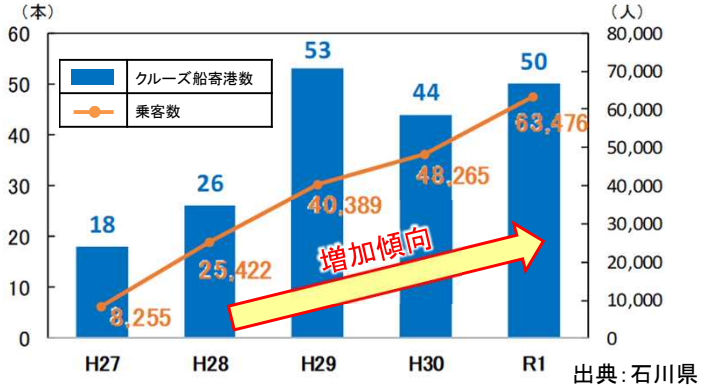
# 課題と整備効果

## 4. 円滑な観光周遊を支援

【課題】①近年増加傾向であるクルーズ船に対応するため、「金沢港クルーズターミナル」が令和2年春に完成予定。
②金沢港を拠点に県内外の観光資源を巡るツアーが多数設定されており、円滑な交通の確保が課題。

【整備効果】金沢港を拠点とする道路ネットワークの強化により、円滑な観光周遊を支援。

【金沢港のクルーズ船寄港数と乗客数の推移】



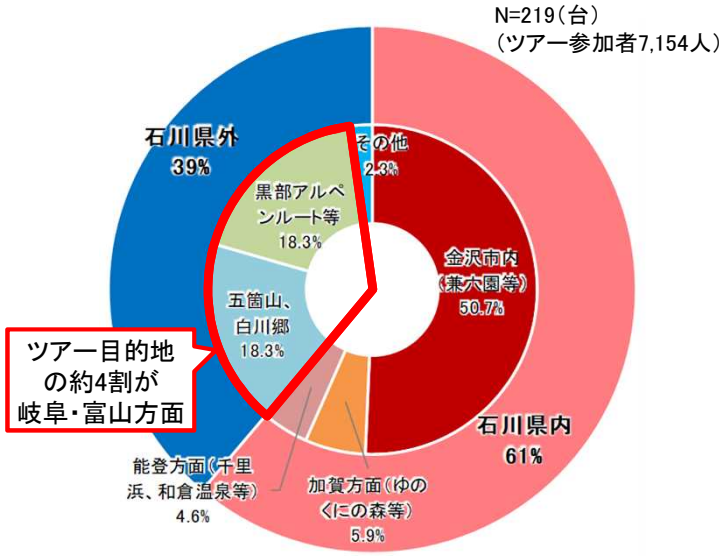

出典：石川県

【建設中の金沢港クルーズターミナル】

撮影日：R2年2月28日（金）

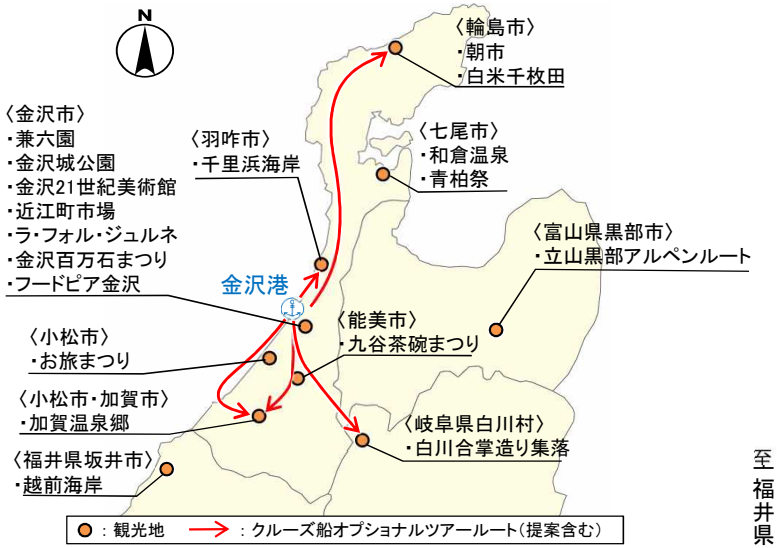
【クルーズ振興（金沢港）】

【金沢港オプショナルツアーバスの目的地割合】




出典：金沢大学調べ（H28.3.26～H28.10.29）

【金沢港周辺の観光資源　（左：広域図、右：詳細図）】




出典：国土交通省HPより作図

# 課題と整備効果

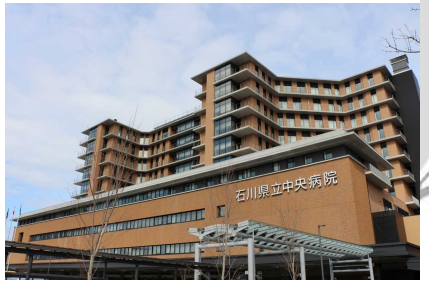
## 5. 救急搬送時間の短縮

【課題】①平成30年に新病院として開院した石川県立中央病院は、金沢地域で唯一の救命救急センター。
②年間約4,000人、平均約11人/日が石川県立中央病院へ救急搬送されており、渋滞により円滑な搬送を阻害。

【整備効果】海側幹線への交通転換により渋滞が緩和し、所要時間が短縮。

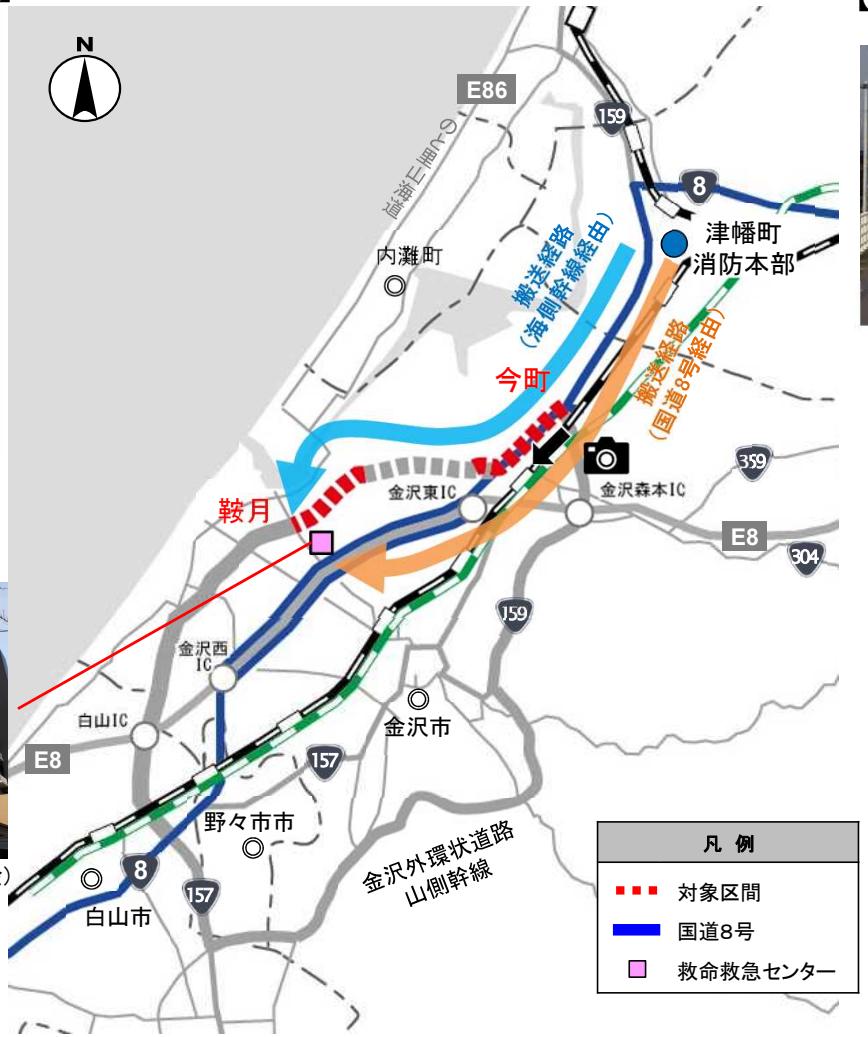
【石川県内における救命救急センター】

**石川県立中央病院**
**（救命救急センター）**




撮影日：R2年2月28日(金)

【金沢地域における救命救急センター】




【渋滞の中を進む救急車両】

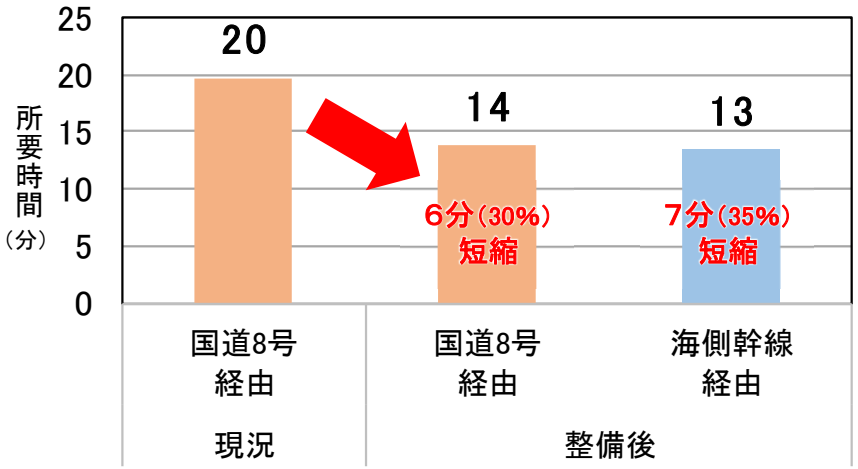
撮影日：R2年2月4日(火) 7時台
国道8号下り 福久東交差点付近

【津幡町消防本部の声】

- 石川県立中央病院への搬送には国道8号を利用しており、他に早く搬送できるルートがない。
- 国道8号福久周辺は朝のラッシュ時に渋滞しており、サイレンを鳴らしてもスムーズに搬送できない。
- 搬送後は、隊員を早く戻し待機させたいが、夕方は津幡方面が渋滞する。

※R2.2津幡町消防本部ヒアリング

【津幡町消防本部→石川県立中央病院への所要時間】




出典：現 況：ETC2.0プローブ情報（H30.4-H31.3）
整備後：R12交通量推計値

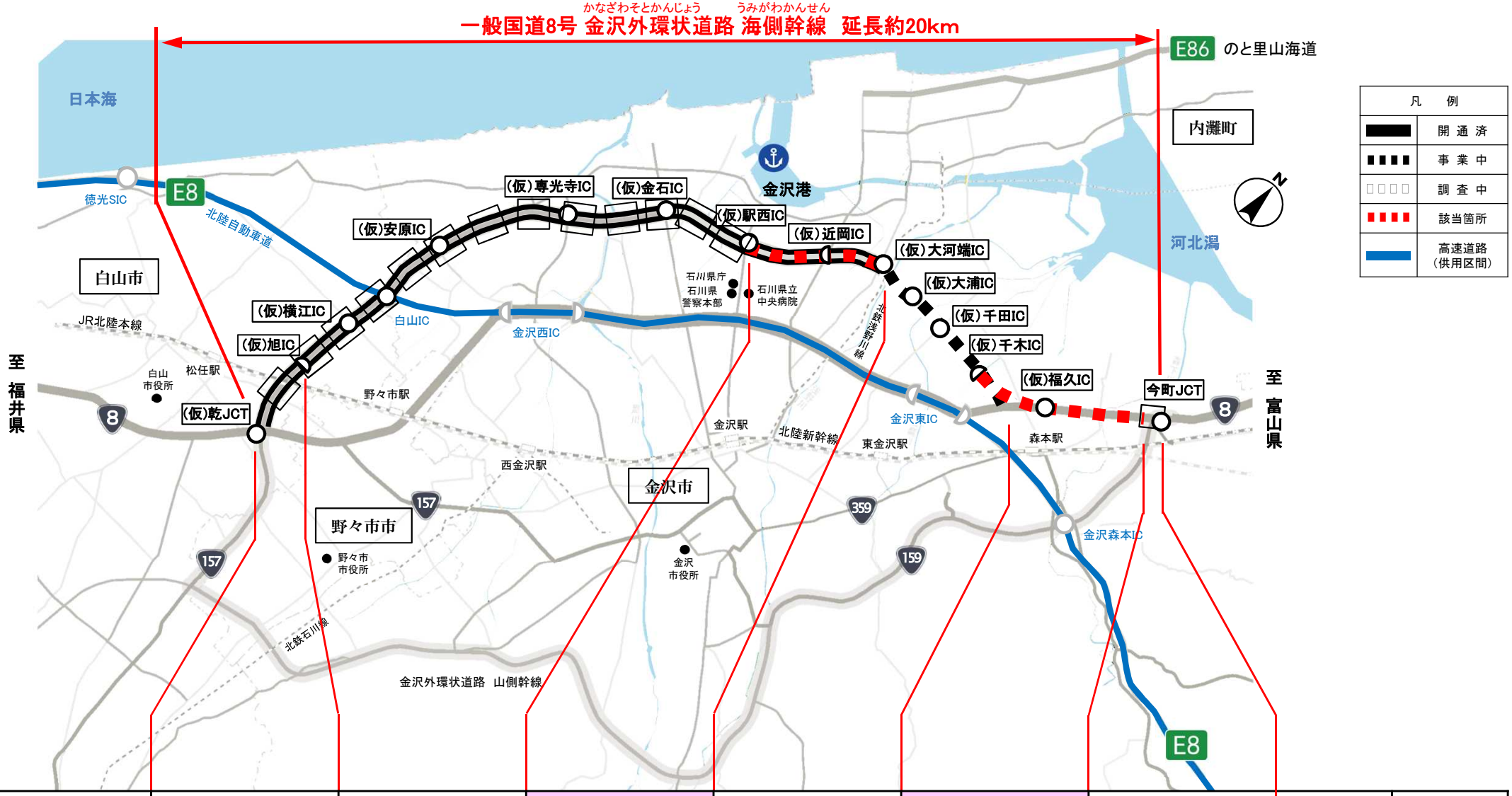
# 4. 費用便益分析結果

# 費用便益分析結果

| 便　益 | | | | ※現在価値化後 | B／C |
|---|---|---|---|---|---|
| 走行時間短縮便益 | | | 約424億円 | 合計<br>約566億円 | 1.2 ＝ [566億円 / 476億円] |
| 走行経費減少便益 | | | 約101億円 | | |
| 交通事故減少便益 | | | 約41億円 | | |
| 事　業　費 | | | | ※上段：単純合計（税込）<br>下段：現在価値化後（税抜） | |
| 事業費 | 改良費 | 約283億円 | 約650億円<br>（約432億円） | 合計<br>約813億円<br>（約476億円） | 1.6※ ＝ [2,342億円 / 1,478億円] |
| | 橋梁・トンネル・IC費 | 約150億円 | | | |
| | その他工事費 | 約29億円 | | | |
| | 用地補償費 | 約96億円 | | | |
| | 間接経費 | 約93億円 | | | |
| 維持管理費 | 約163億円<br>（約44億円） | | | | [ ]書き上段：現在価値化後の便益<br>下段：現在価値化後のコスト<br>※金沢外環状道路海側幹線一体で評価した場合 |

注）費用および便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致していない場合があります。

# 広域ネットワークでの費用便益分析＜一般国道8号 金沢外環状道路海側幹線＞




| | 調査中区間（乾JCT）L=1.3km | 調査中区間（鞍月～五歩市）L=9.0km | 新規事業化候補箇所（大河端～鞍月）L=2.4km | 事業中区間（福久～大河端）L=2.6km | 新規事業化候補箇所（今町～福久）L=3.2km | 調査中区間（今町JCT）L=0.5km | B/C | EIRR |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新規事業化候補箇所 | | | ○ | ※1 | ○ | | 1.2 | 5.1% |
| JCT間※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1.6 | 7.3% |

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象（全区間）
※1：B/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む　※2：基準年をR1として計算

# ５．とりまとめ

# 対応方針（案）

○ 一般国道８号（金沢外環状道路）海側幹線（今町～鞍月）の新規事業化は、妥当である。